

『国立劇場所蔵 見世物資料図録』



A4判縦・208頁・フルカラー
 監修：川添 裕(横浜国立大学大学院教授)
 樋口保美(見世物研究家)
 販売価格：2,700円(税込)
 刊行予定：令和3年2月6日

【お取り扱い】
 国立劇場大・小劇場プログラム売場



文化堂オンラインショップ
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/bunkadou/>

国立劇場伝統芸能情報館
 (平日 午前10時～午後6時)

『国立劇場所蔵 見世物資料図録』 刊行記念連携企画

演芸資料展 見世物の「近代」 - 開国から明治の時代

令和2年12月1日(火)～令和3年3月21日(日)
 国立演芸場1階・演芸資料展示室
<https://www.ntj.jac.go.jp/engei/event/808.html>

第78回伝統芸能講座 『見世物の楽しみ』

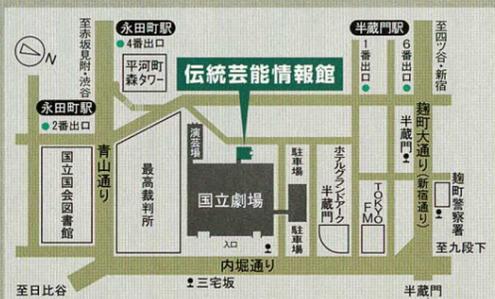
講師：川添 裕(横浜国立大学大学院教授)
 日時：令和3年3月13日(土)
 午後2時～午後3時30分(終了予定)
 応募締切：令和3年2月26日(金) 当日消印有効
 会場：国立劇場伝統芸能情報館3階レクチャー室
 募集：56名(応募者多数の場合は抽選)
 全席座席指定
 受講料：500円(当日現金にてお支払いいただきます)
 応募方法：往復はがきでご応募ください。
 詳細はホームページをご確認ください。
<http://www.ntj.jac.go.jp/tradition.html>

お客様への お願い

- ご入場の際、サーモグラフィーによる検温を行います。
 発熱等の症状がある場合、入場をご遠慮いただきます。
- 必ずマスクの着用をお願いいたします。
- 展示室内では、他のお客様との間隔を空けてください。
- 展示室内では大声での会話は控えいただき、静かにご鑑賞ください。
- 手洗いや手指消毒のご協力をお願いいたします。

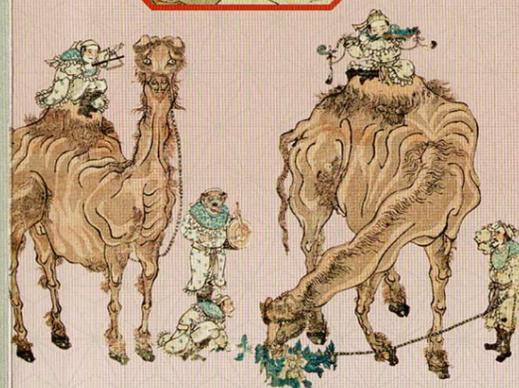
国立劇場伝統芸能情報館

Traditional Performing Arts Information Centre
 独立行政法人 日本芸術文化振興会
 Japan Arts Council
 〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1 Tel.03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>
 ●展示に関するお問い合わせ 国立劇場 調査資料課
 Tel. 03-3265-7061(平日:午前10時～午後5時) Fax:03-3265-6066
<https://www.ntj.jac.go.jp/tradition/event/1080.html>



【地下鉄】半蔵門駅(半蔵門線)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩8分
 有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩5分

企画展示



見世物の 精華

入場無料

令和3年
 2.6(土) > 5.26(水)
 午前10時～午後6時 休館日:3.11(木)

国立劇場伝統芸能情報館



主催：独立行政法人日本芸術文化振興会



Thematic Exhibition
The Flower of MISEMONO

Admission: Free
 Dates: February 6 (Sat) – May 26 (Wed), 2021 Hours: 10:00 – 18:00 Closed: March 11 (Thu)
 Traditional Performing Arts Information Centre, Information Exhibition Room (first floor)
 Address: 4-1, Hayabusa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8656



企画展示

精華 見世物の

入場無料

令和3年
2.6^土 > 5.26^水
午前10時～午後6時
休館日:3.11^日

かつて見世物は、庶民に最も親しまれた身近な芸能娯楽であった。とくに江戸時代後期には、江戸の両国や浅草、大坂の難波新地などで盛んに興行され、都市の盛り場にはつきものの楽しみであり、内容としては「曲芸」「細工見世物」「動物見世物」の3つが主なジャンルであった。なお、「細工見世物」とは、よく知られた物語や歴史の場面、伝奇伝説人物、名所風景などを、各種素材の細工と、からくり、大道具大仕掛、人形ほかで仕組んで見せたものである。見世物は当時の庶民共有の話題であり、錦絵や絵番付など関連する出版物が数多く刊行されている。

このたび国立劇場では、四十年前後の長い時間をかけて収集してきた錦絵や絵番付などの見世物資料509点を、図版オールカラーで『国立劇場所蔵 見世物資料図録』として令和3年(2021)2月に刊行する運びとなった。

そこでそれに合わせて、所蔵資料の粋を紹介する企画展示『見世物の精華』を2月6日から5月26日まで、伝統芸能情報館で開催する。多くの方々にたくさん見世物資料の優品、稀品、貴重な品を直接ご覧いただき、私たちが拠って立つ過去の時代と文化を、これまで以上に知っていただくきっかけとなれば幸いである。

監修:川添 裕(横浜国立大学大学院教授)

主な展示資料

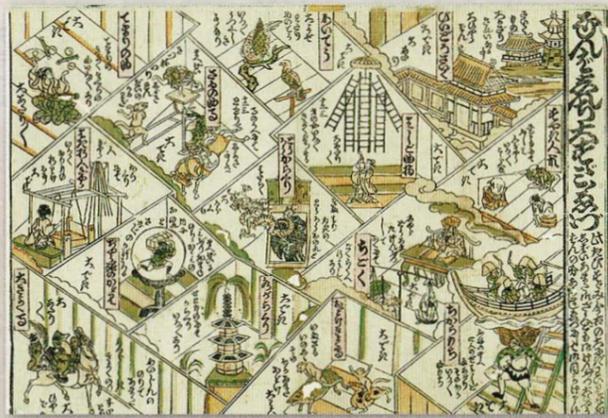
★はチラシ表面に掲載
◎はチラシ中面に掲載

I 見世物の場所—両国、浅草、難波新地ほか

- ◎浮世絵 あらわし岩尾 丈六尺三寸(女力持) 明和～安永頃カ 江戸・両国 ①
- ★錦 絵 東都名所 両国橋夕涼全図 ※見世物小屋(兩岸) 天保頃 江戸・両国(最下段)
- ★錦 絵 ふきや町小芝居にて 花桐繁十郎 曲まくら(曲枕) 天明3年(1783)頃 江戸・葺屋町(中段左上)
- ◎摺 物 なんばしんら大すずみゑづ(難波新地大涼み絵図、見世物の集覧) 天明2年(1782) 大坂・難波新地 ②



①



②

II 早竹虎吉の軽業

- ◎錦 絵 両国於而 早竹虎吉かる業園(石橋、木舞渡り) 安政4年(1857) 江戸・両国 ③
- ★錦 絵 雷のはなれわざ 大坂下り・早竹虎吉(軽業 一念雷と筑紫の飛梅) 安政4年(1857) 江戸・両国(中段右)
- ◎絵本番付 早竹虎吉 大当り(軽業) 江戸末期 ④



③



④

III 見世物と異国

- ★錦 絵 駱駝之図(駱駝の見世物) 文政7年(1824) 江戸・両国(中段左下)
- ◎錦 絵 ギヤマン船(ギヤマンガラス細工) 弘化4年(1847) 江戸・浅草 ⑤
- ◎錦 絵 籠細工 浪花細工人・一田庄七郎(豊干禪師と虎) 文政2年(1819) 江戸・浅草 ⑥



⑤



⑥

IV からくり、大道具大仕掛

- ◎絵番付 からくり御曹子嶋巡 細工人・竹田近江大掾(竹田からくり) ※竹田芝居興行 元亨5年～寛保2年(1740～42)カ ⑦
- ◎絵番付 新工夫風かぶり 細工人・田中儀右衛門(蒸気からくり) 天保頃 ⑧
- ★錦 絵 曲独楽 竹沢藤次(道成寺、芥れの的) 弘化元年(1844) 江戸・両国(上段右)



⑦



⑧

V 松本喜三郎の生人形

- ◎錦 絵 風流生人形(松本喜三郎 遊女黛) 安政3年(1856) 江戸・浅草 ⑨
- ★錦 絵 人形之園(松本喜三郎 生人形 鏡山) 安政3年(1856) 江戸・浅草(上段左)
- ◎絵番付 西国順礼三十三所観音霊験記 松本喜三郎(生人形) 明治12年(1879) 大阪・千日前 ⑩



⑨



⑩